

2022年度 第2回 日本獣医がん学会雑誌 編集委員会 議事録

日時：2022年7月2日（土）10：00～10：50

場所：ホテルニューオータニ東京

出席者：

[本会雑誌編集委員会 編集委員長]藤田道郎（日本獣医生命科学大学）

[本会雑誌編集委員会 編集委員]

浅野和之（日本大学）、鈴木 学（株式会社サップス）、  
瀬戸口明日香（JASUMINE どうぶつ総合医療センター）、高木 哲（麻布大学）、  
高橋 雅（鹿児島大学）、谷 浩由輝（日本大学）、中川貴之（東京大学）、  
中山智宏（日本大学）、細谷謙次（北海道大学）

### 1. 審議事項

以下（1）～（4）について審議され、承認された。

（1）メイン査読結果のとりまとめ方法についての改善点について：

- （ア）（1）を受けて、「掲載可」「修正後掲載可」「掲載不可」の判定について、「リジェクト」「リジェクト後再投稿」を加えることとなった。
- （イ）（ア）を受けて、「修正後掲載可」は3ヵ月以内に投稿者側が修正、「リジェクト後再投稿」は6ヵ月以内に投稿者側が修正、提出することとなった。
- （ウ）（ア）（イ）をうけて、「修正後掲載可」「リジェクト後再投稿」については、それぞれ同じメイン査読者が継続して担当することとなった。
- （エ）メイン査読結果の体裁をある程度統一することを目的に、制作・編集にてフォーマットを作成することとなった。

（2）投稿者とメイン査読者とのやりとりにおける改善点について：

これまでは「投稿者と担当査読者（1～2名）は直接のやりとりをしない」こととなっていた。いっぽう「投稿者と担当メイン査読者は、『投稿者からの要望があり、かつ担当のメイン査読者から了承がある場合』は、直接にやりとりも可能」としていた。しかし今後は「投稿者と担当メイン査読者は、投稿者から要望の要望があっても、直接やりとりは不可能」とする。ただし、ケースにより個別に編集委員長が判断する場合もあるとする。

（3）投稿規程の改訂について：

投稿規程の改訂にあたり、2020年度第2回本会雑誌編集委員会で審議、承認された「本会雑誌の引用文献に商業誌は認めない」という規定以外にも、追加すべき事項が考えられる場合は、具体的な内容を規定案として各委員が上程し、それらを制作・編集にとりまとめ、次回委員会にて審議する。

（4）表記の統一について：

- （ア）本会雑誌の表記統一表を作成し、メイン査読者へ送付
- （イ）（ア）をふまえ、初校ゲラ作成時にも表記の確認を行う。

## 2. 報告事項

以下 (1) ～ (3) が報告された。

(1) 2022年7月2日時点で、Vol. 11 No. 1 (短報2本掲載)、Vol. 11 No. 2 (短報1本掲載) の公開が報告された。

(2) 2022年7月2日時点で、査読中の論文 ( Vol. 11 No. 3以降掲載予定 ) が、  
原著：0本、短報：20本であることが報告された。今後は1号での掲載論文本数を増やしていくことが確認された。

(3) J-STAGE から過去の掲載記事で、書誌情報のない記事は削除する通知が届き、了承したことが報告された。

以上。

(文責者：藤田道郎)